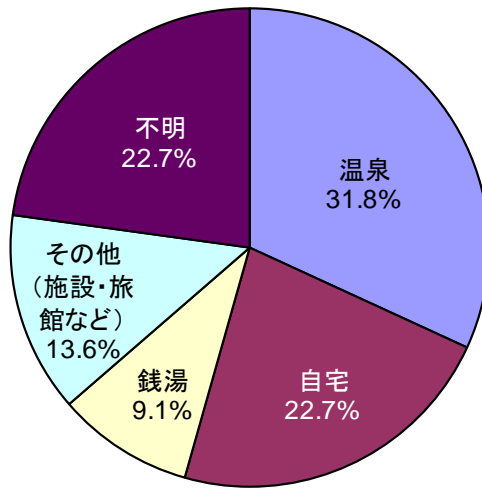


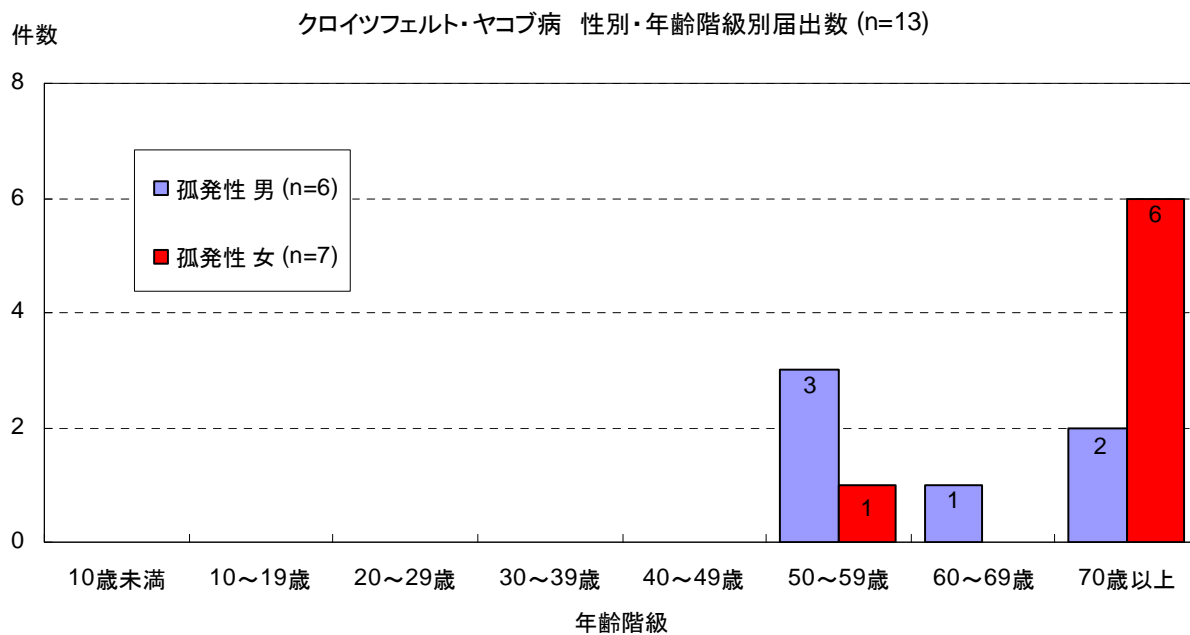
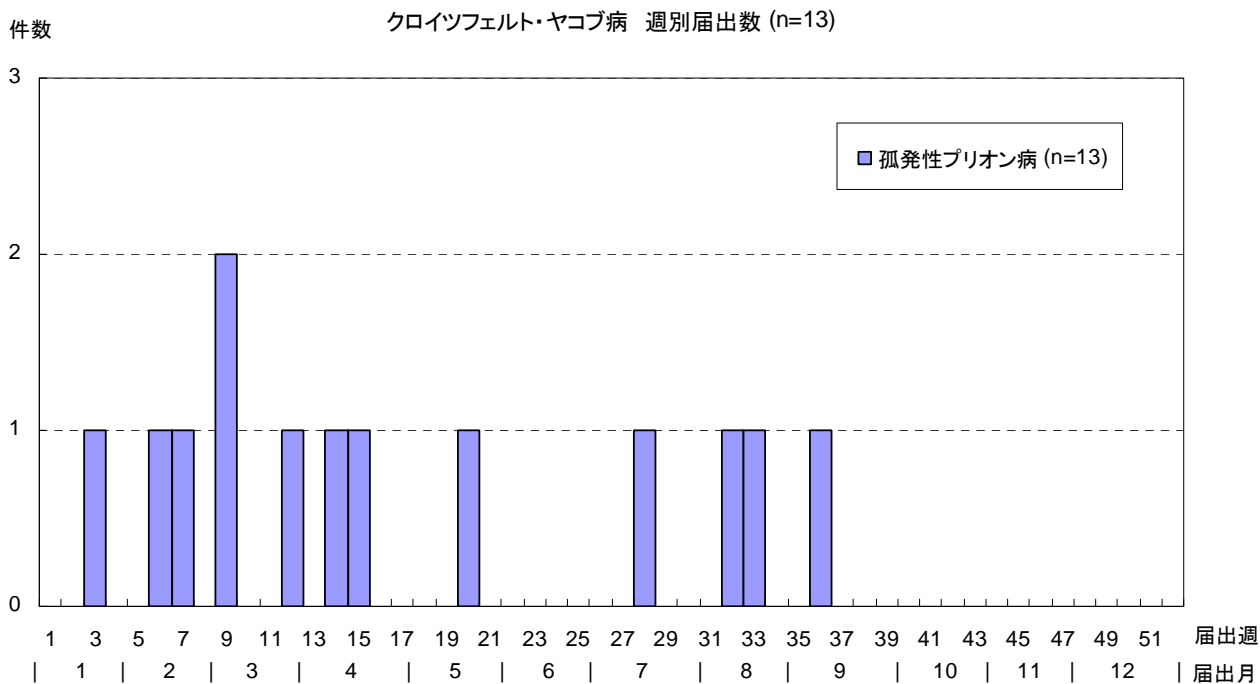
感染症発生動向調査事業報告書 平成23年(2011年)
正 誤 表

ページ	行	誤	正
目次 iii	下から3行目	2010年/2011年	2011年/2012年
4	上から5行目		追加:2011年2月1日より全数把握対象疾患の4類にチクングニア熱、基幹定点医療機関報告対象疾患に薬剤耐性アシネトバクター感染症が追加された。
6	下から11行目	弧発性プリオン病・古典型CJD12件	弧発性プリオン病・古典型CJD13件
		、感染性プリオン病・変異型CJD1件	削除
	下から2行目	早期顕症梅毒Ⅱ期125件	早期顕症梅毒Ⅱ期124件
		晩期顕症梅毒6件	晩期顕症梅毒7件
7	上から4行目	風しんは32件	風しんは35件
	上から4行目	検査診断例25件	検査診断例28件
	上から4行目	国内30件	国内33件
	上から18行目	流行性耳下腺炎	流行性耳下腺炎
11	「表2-1-(1)」風しん 2011年の値	32	35
14	「表2-5」欄外	薬剤耐性アシネトバクター	薬剤耐性アシネトバクター*1 *1 2011年2月1日より実施
35	レジオネラ水系感染の内訳のグラフは裏面に差し替え		
41	下から7行目	弧発性プリオン病・古典型CJD12件(ほぼ確実9件、疑い3件)	弧発性プリオン病・古典型CJD13件(ほぼ確実10件、疑い3件)
		、感染性プリオン病・変異型CJD(ほぼ確実)1件	削除
42	クロイツフェルト・ヤコブ病のグラフは裏面に差し替え		
52	上から2行目	早期顕症梅毒Ⅱ期125件	早期顕症梅毒Ⅱ期124件
		晩期顕症梅毒6件	晩期顕症梅毒7件
	梅毒届出数のグラフは裏面に差し替え		
55	上から2行目	32件	35件
	上から2行目	検査診断例25件	検査診断例28件
	上から3行目	男性22人	男性25人
	上から4行目	40歳代5人	40歳代6人
	上から4行目	50歳代2人	50歳代4人
	上から4行目	国内30件	国内33件
	上から5行目	(25%)	(23%)
	上から5行目	不明22件	不明25件
上から5行目	(69%)	(71%)	
56	風しん届出数のグラフは裏面に差し替え		
57			
63	「表3-1(3)」風しん 20週(5.16~5.22)の値	1	4
	「表3-1(3)」風しん 合計の値	32	35
66	「表3-2(3)」風しん 八王子市の値	空欄	3

ページ	行	誤	正
66	「表3-2(3)」風しん 合計の値	<u>32</u>	<u>35</u>
69	「表3-3(3)」風しん 40～44歳の値	<u>1</u>	<u>2</u>
	「表3-3(3)」風しん 55～59歳の値	<u>1</u>	<u>3</u>
	「表3-3(3)」風しん 合計の値	<u>32</u>	<u>35</u>
121	「表1」	臨床診断名別にみた検体搬入状	臨床診断名別にみた検体搬入状況
122	下から2行目	20 <u>10</u> 年	20 <u>11</u> 年

レジオネラ症 水系感染の内訳
(n=22)





クロイツフェルト・ヤコブ病 (n=13)

#	受理日	受理週	性別	年齢	病型	確実度	推定感染地	推定感染経路
1	1/18	3	女	78	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		
2	2/9	6	女	77	弧発性-古典型 CJD	ほぼ確実	国内	手術等観血的処置
3	2/14	7	男	58	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		
4	2/28	9	女	74	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		
5	3/2	9	男	50	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		
6	3/22	12	女	74	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		
7	4/4	14	女	71	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		
8	4/13	15	男	67	孤発性-古典型 CJD	疑い		
9	5/16	20	男	73	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		
10	7/14	28	男	73	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		
11	8/11	32	男	58	孤発性-古典型 CJD	疑い		
12	8/15	33	女	73	孤発性-古典型 CJD	疑い		
13	9/8	36	女	57	孤発性-古典型 CJD	ほぼ確実		

件数

梅毒 週別届出数 (n=248)

